

令和2年度予算編成方針について



令和会 ● 上野 顕介 議員

問 本市の財政状況と今後の財政見通しは。

答 合併関連事業の推進や義務教育施設の耐震化など投資的経費の増加による市債残高の増加および高齢化率の上昇などにより、公債費、扶助費をはじめとする義務的経費が伸びている一方で、税収は生産年齢人口の減少により大きな期待はできません。また、普通交付税による歳入も減収となる見込みです。

問 厳しい財政見直しを受けて、行財政改革はどのように考えますか。

答 行政事務の効率化やスリム化を図り、公共施設の再編成に取り組んでいます。

問 東庁舎建設や公共施設のあり方を市民と議論することについて

答 東庁舎建設や公共施設のあり方を検討す

るにあたり、市民の皆様との議論は必要と考えています。予算が必要ならば措置を講じたかと考えています。

問 限られた予算の編成をするにあたり、地域のことは地域でと考えるのでしょうか、地域での役の担い手減少も大きな課題です。まちづくり協議会や民生委員・児童委員、健康推進員などの担い手の減少を防止する工夫も予算措置すべきと思うが、その見解は。

答 地域ビジネスは独自に取り組んでいただけでありますが、防災や福祉の面では行政と地域の連携が重要なので、地域に全てをまかせるのではなく、地域の取り組みが円滑に行われるように、その支援に要する経費の一定の予算措置は必要であると考えています。



施設名称・SDGs・自然環境教育について



みらいの風 ● 奥村 幹郎 議員

各施設の名称・呼称について

問 湖南市の中心的存在である「甲西駅」の駅名は、今のままで良いのか、「湖南駅」などに変更したい希望はありますか。

答 変更には、地元の総意と莫大な費用が必要で現行の名称が定着している感もあり、現在は進めていません。

問 サンヒルズ甲西、サンライフ甲西、サンビレッジ甲西、この3件では、名前が混乱。まちがいの原因になっていると思われるが、呼称変更など利用者さんに判りやすくする工夫は必要ではないでしょうか。

答 要望は聞いていない。案内書などでは、所在地・地図を入れるなど誤解の無いように配慮していきます。

問 ネーミングライツの導入は。

答 広告収入など有効なアイデアであるが、現在スポンサー企業も無く実施に至っていません。

SDGsの取組について
国・県・企業・団体などにおいて取り組みが活発となってきたSDGsだが、湖南市の取り組み状況は。

答 当市におきましては、すでに総合計画などで合致した計画・政策を実施しており、SDGsの考えのうち、10の項目に重点を置き活用していきます。

自然環境教育について

問 方針について

答 良好な環境を未来に残すには子どもたちの意識の醸成を図っています。

問 市内の環境活用について

答 学校支援ボランティアなどの協力をいただき、学校の環境に応じた活動を実施しています。